



いわき

意和氣のかと心でチャレンジ!

由利本荘市立岩城中学校
2022. 11. 28(月) NO. 25
文責：校長 倉田

今年度最後の授業研究会がありました

24日(木)に中央教育事務所由利出張所・****指導主事、中央教育事務所・****指導主事をお迎えし、1年生の国語と音楽の授業を職員全員で参観しました。国語の授業は「なぜ故事成語が『今に生きる言葉』なのかを考えよう」という学習課題について考える授業でした。様々な故事成語を自分の体験と関連付けて紹介し合う場面では、体験を語る際に用いた故事成語が、その体験と正しく結び付いているかを確認する姿がありました。その後、学習課題に対する個人の考えを持ち寄りグループワークを行いました。最後には、学習課題の「なぜ」に対する「答え」を全員で確認し、授業を終えました。

音楽の授業は「曲の山場のイメージをふくらませ、音の重ね方の工夫で表現しよう」という学習課題で、これまでに学んだことを活かして音楽を作り出すという授業でした。曲のイメージについてグループで活発に話し合い、よりよい音楽になるよう検討を重ねていきました。授業終盤で各グループの作品を全員で表現し、盛り上がる姿がみられました。

手前味噌になりますが、どちらの授業も、校報NO.23でお伝えした、本校で目指している「生徒同士が学び合う活動」が取り入れられた授業でした。

お二人の指導主事の先生からは、一人一人がじっくりと考えることで自分なりの考えをしっかりともてていたこと、その考えを伝え合うグループでの話し合いが主体的で活発であったことなど、1年生の姿に対し、お褒めの言葉を頂きました。

今後も生徒全員が「わかった」「できた」を感じることができる授業作りを推進していきたいと思えます。

【授業の様子 国語】



▲学習課題が提示されます



▲付箋を貼り出し意見交換



▲付箋を貼り出し意見交換



▲自分の考えをまとめます

※裏に続きます



▲学習課題の「なぜ」に対する「答え」をグループでまとめています



▲どのグループも一生懸命



▲グループの意見を紹介

【授業の様子 音楽】



▲前の学習を振り返ります



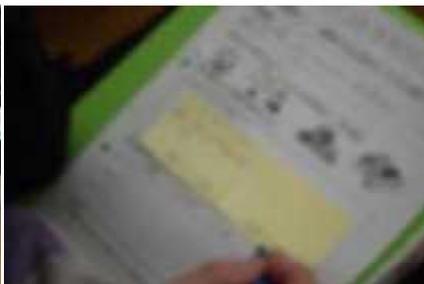
▲今日の学習内容を確認



▲グループで構想を話し合い、音楽づくりに



▲いったん自分で考えます



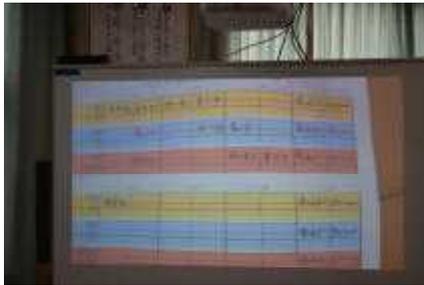
▲ アイデアを付箋に



▲再度グループで話し合い



▲できあがった作品をグループの代表が紹介します



▲今日の学習を振り返ります